

(個人用)

行政視察等報告書（個人用）

令和7年 9月4日

報告者	篤心会 小林昭弼
日時	令和7年8月27日～28日
視察（研修）場所	1 熱供給について学ぶ北海道熱供給公社中央エネルギーセンター（27日） 2 札幌文化芸術劇場 hitaru（27日・28日）
目的	第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌
<b>【概要】</b> <b>1 熱供給について学ぶ北海道熱供給公社中央エネルギーセンター（27日）</b> 地域熱供給と木質バイオマス利用の取り組み。熱供給事業は1ヶ所以上の建物に配管を通して、冷水・温水等を送って冷房・暖房等を行うこと。熱供給の燃料として木質バイオマス（建築廃材・林地未利用材）燃料利用のメリットは、地域でとれるエネルギー・カーボンニュートラルな燃料。CO2削減や地球温暖化防止に貢献。 <b>2 札幌文化芸術劇場 hitaru（27日・28日）</b> 多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考えるをテーマにパネルディスカッションが行われた。  地方議会・議員に対する無関心、もしくは不信が広がる現状と地方議員選挙における投票率の低下、ここ数年の統一地方選挙での無投票当選者や定員割れが顕著に増加したことを懸念していた。そこで論点として議員の多様性や住民代表性の確保「若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備」や議員定数・議員報酬のあり方をどうするかが重要であると指摘されていた。	

【所感、知立市政への反映に向けた課題等】

これから選挙に立候補しようとする方も、現在の報酬と議員報酬を比較すると断念せざるをえない方もいるかもしれない。議員の多様性の観点からするなら、それぞれ生活形態が異なるなか企業や自治体職員のように基本給のほか、扶養手当・住居手当等や厚生年金への加入などが完備されればと感じている。

※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後1週間以内に提出してください。